

2012年5月17日(木) 8:00~10:50 第5回

・5/31 高校向け大学宣伝ビデオ用に朝ゼミ風景が撮影されます。

それに際し、来週・再来週は iPad を利用してゼミを展開します。

輪読のスライドは Google ドキュメントで共有をかけてください。

担当者はドキュメントでスライドに意図せぬ変化が起きてないか確認しておくこと。

・本日の小咄①(担当者：小山)―「走るネット端末 新技術競い合い(2012.5.16 日経産業新聞)」

次世代カーナビが相次ぎ発売されているという話。

クラリオン社(車内音響機器)...スマホで情報収集しクラウドを通して高度な操作を実現するカーナビ(カーナビが売れなくなってしまうを防ぐためこのような形態で発売)

パイオニア社(DVD player)...車内の上に設置することでフロントガラスに現実と重ねたナビゲーション情報を投影する。これは飛行機ではすでに実用化されている技術を利用している。主な利点はナビを確認するために視線が落ちることはないので安全面が向上すること、そして価格も従来のもものと大差ないことである。

映像を見た感想...透明度は高いものの、案内に集中してしまっただけで前方車に追突や人身事故を起こしてしまう危険性があるのでは?アイサイトを搭載してみるのも良いかも。

・本日の小咄②(担当者：加藤)―「フェイスブックの「次」を狙う―モバイル特化型 SNS 台頭(2012/04/19 日本経済新聞朝刊)」

スマホの普及に伴い、続々とモバイル SNS が台頭してきたという話。

パソコン向けで急成長した facebook は 8 億人の利用者を抱える誰もが認める SNS のトップである。そして今、facebook の次を狙っているものの代表として path がある。

これは facebook の中核技術者だったモーリン氏が作ったモバイル SNS。彼は 2010 年時点で 2013 年にはモバイル市場がパソコンを上回ると予測していた。実際、2011 年にはスマホの世界出荷台数がパソコンを上回り、市場規模も上回った。モバイル SNS の持つ可能性はまだ大きく、成長余地も大きい。

しかし facebook はただこの様子を見ているだけではなく、instagram を買収し防戦に乗り出している。現状の Facebook は先進国ではユーザー数が頭打ちになっていて、昨年度収益が数%減少している。

・輪読(担当者:Amazon 班)―「第 3 章 研究・開発マネジメント戦略 既存技術と新技術(ローテクとハイテク)の融合」

新事業のために新技術をいかに効率良く活用していくか、その課題と対応策について。

・アウトソーシング化(現在の新規商品の研究開発)：開発専門会社のノウハウと既存の基盤技術力を組み合わせた共同で新製品開発を実施

・ハイテク：まだ成長する可能性のある技術(先端技術)=軽薄短小 ハイリスク・ハイリターン

ローテク：既存の完成度の高い技術=重厚長大 ローリスク・ローリターン

※「職人芸」や「ローレベルな技術」を意味しない

・技術進歩による省力化・自動化

・巨大な組織における運営形態とスピード感覚の違いの差

・お互いの分野が出来ることを熟知し、ローテクをもとにハイテクを繋げる必要性。それにはまず自身の技術に対する問題意識を持つこと。

・自社の強みや弱み、次の製品の開発ターゲットの設定するためには、自社商品が売れている理由を技術要素に落とし込むことが重要

・既存技術の蓄積を積極的に利用して製品化スピードを上げる(自社既存技術 50%+世の中の既存技術 45%+新技術数%)。

・スピンアウト・スピンオフについては次回再度プレゼン。